

2024(令和 6)年度

子どもの未来応援国民運動 助成

## 事業報告書

NPO 法人こどもステーション



子供の未来応援国民運動



## 「生活困窮家庭の子どもたちを地域で支える」事業

### 事業の概要

貧困・孤立・暴力被害などによって、子育て・生活に困難を抱えている女性とその子どもたちの親子が自己肯定感と親子の関係性を取り戻し、母子ともに自分自身の夢を描き、自己実現を目指して自立できるように支援することを目的として、居場所づくりや食支援・生活支援、相談・訪問支援・カウンセリングなどを行う事業

### 事業の必要性

これまでの活動の中で、たくさんのシングルマザーや若年の母、養護施設を出た若年層の女性たちに出会ってきました。2023 年度はコロナ禍に引き続き物価高も重なり、食品支援の依頼のために当法人に繋がろうとする母子が少なくありませんでした。つながりを作っていく中で、困り感は経済的なことに限らず広範囲にわたっていることが見えてきました。つながりを得ることができた人たちは、力を得て前向きに生きていこうとする姿を私たちは見えてきました。その中で見えてくるそれぞれの母子の困り感は、信頼関係のある中でしか発見されないことも多く、母子自身が、困っていることにさえ気づかないほど、必死に生きている姿を見てきました。それぞれの問題解決に向けた個別支援を行い、自己実現のイメージが持てるようにする必要があります。そのため、2024 年度は、地域のボランティアを広く募集し、より身近な支援が包括的にできていく仕組み作りにも取り掛かる必要性がありました。

### 期待される成果

#### 対象者の変化

- ・自分は価値ある人間だという感覚のアップ
- ・ひとり親になったことへの罪悪感の減少
- ・他者への信頼感のアップ
- ・他者への共感力のアップ
- ・自分を大切にしている行動の指針の増加

#### 地域社会の変化

- ・食品などの寄付者の増加
- ・行政窓口との連携の拡大
- ・協力団体・ボランティアの増加
- ・ひとり親支援に関する相談の増加



## 取り組み報告

### 1. ひとり親家庭の子どもと母の居場所づくり

#### ① しんぐるまざあずカフェ

数値目標：8 回／年（5・6・7・10・11・12・1・3 月） 200 人

数値結果：8 回／年（5・6・7・10・11・12・1・3 月） 137 人（母：65 人 子ども 72 人）

会場：こどもステーション事務所&もこルーム(通常)

JA 福山 カメリア本館(12 月／クリスマス会)



#### 《しんぐるまざあずカフェ》

5 月 H&M 社の服・服飾品と日用品の頒布会

6 月 伝伝さんのマジックショーと避難訓練

消防車も来るよ！

7 月 ミニ講座「お片付けワークショップ」

10 月 ミニ講座「フラワーアートで花遊び」

11 月 離婚前後の親支援講座(共催)

12 月 音のひろば&伝伝と Hannah のマジックショー

1 月 ミニ講座「今年こそ家計簿」

3 月 おしゃべり会

#### 《しんぐるまざあずカフェを振り返って》

2024 年度のしんぐるまざあず・カフェは、いつものおしゃべり会に加えて色々な企画を楽しみました。どれも大好評！ シンママ自身が「楽しんでいいんだ」と思える企画は、シンママたちをエンパワーします。

3 月のおしゃべり会では、行政の新しい子育て支援施策に対して「シンママの声も聞いてほしい！」とシンママの声を集めました。今まで黙っていたしかなかった想いを出し合い、行政にシンママの声も届けました。初めて参加した人も久々に参加した人も共感しあって力強かったです。

シンママはとても忙しい日々を過ごしています。ひとりで決めなくては行けない事、なかなか話せない悩み事も沢山あります。気が付くと不安の渦に巻き込まれてしまって抜け出せないこともあります。楽しいと思える色んな体験をシェアすることでひとりじゃないと思えるように、ここに来れば安心して話せると思えるように。これからも、そんな場を大切にしていきたいと思います。

(なつこ)



#### 《しんぐるまざあずカフェの託児を振り返って》

今年度の託児は、もこルームで 7 回行い、そのうちの 1 回は、防災訓練までの 30 分間行いました。

毎回、みんなで「安心安全のためのみんなの約束」の読み合わせをしています。子ども達は、ルールを

確認し共有することで、安心して自分のしたい遊びを楽しんでいるようです。またおやつ時間は、子ども同士がくつろいで気軽に会話ができる触れ合いの場になっています。子ども達が仲良くなることで、親同士も繋がっていくこともあるようです。

今年度の託児は、沢山のボランティアの方に手伝って頂き、大変助かりました。また小学校の時から来ていたひとり親家庭の子どもさんが、託児する側として参加してくれるようになり、とても頼もしく嬉しく思っています。

母親が、自分の時間を確保して リフレッシュするには、安心して子どもを預けられることが大事です。その為に、子ども達が楽しみに来てくれ、笑顔でバイバイできるような託児を心がけ、居心地の良い預け先になればと思います。(内田)

#### 《6 月伝伝さんのマジックショーと避難訓練》

設備点検の間、1 階ではシンママたちのおしゃべり会、2 階もこのルームでは、子どもたちの遊びの時間。避難訓練が始まるまでの時間、「防災 QUIZ」（認定 NPO 法人全国子ども食堂支援センターむすびえ制作）を楽しんでから、さあ、「キッチンから出火」を参加者が発見するという想定。



ママたちは、1 階の玄関からそのまま外へ避難してもらい、子どもたちは、2 階のスタッフと一緒にゆっくりと手をつないで階段から非常口へ避難。その間に 1 階のスタッフは、消火失敗と通報！館内に取り残されている人はいないかを確認して、スタッフも避難！外に出ると消防車が一台待機してくれていて、子どもたちはウキウキ。



子どもたちが消防車を案内してもらっている間、ママとスタッフは消火訓練。子どもたちは消防車の運転席にも乗せてもらって、ママは記念に



写真を撮っていました。

そして、もこのルームに戻ると、そこは、魔術の世界「マジックショー」の始まりです。カードマジックや中国の魔術「変面」に魅了されました。生でこのような体験ができることが少ないですが、今日のことはきっと一生忘れられない思い出になったことでしょう。（奥野）

#### 《7 月ミニ講座「おうちの片づけ ～キッチン編～」》

今年のミニ講座は昨年のアンケートの中からキッチンの片付けの希望があったのでキッチン編として、冷蔵庫の中の収納方法とビニール袋の保管方法・活用法をしました。

冷蔵庫の中を見ながらテクニックを学び、実践しました。ビニール袋の保管方法では保管しておくケース作りのワークショップをしました。その作業をしながら「こんな時はどう収納したらいい？」などと気軽に質問されていました。皆さん「是非実施してみたい」と笑顔でした。

講座を受けてのアンケートで満足度は 10 点満点で全ての方が 10 点と答えてくれました。

「今後どのような講座があれば受けたいですか？」の問いには





お金に関する事、給付金、税金、年金、家計管理、資格取得や料理についてなどを出してくださいました。  
“前を向いて進んでいこう！”という気持ちの表れではないかと感じました。(川本)

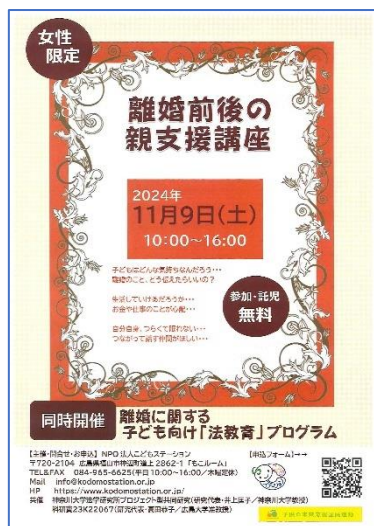
### 《10月ミニ講座「フラワーアートで花遊び」》

昨年のしんぐるまざあずフェスタからリクエストを受けて、今年度は、カフェの中で取り組んでみました。思い思いの作品を作りながら、ワイワイとにぎやかに、そして黙々と取り組み、どれも見事な作品が出来上がりました。

まず、自分の家のどの部屋のどこに置かかイメージしてもらい、その場所にどこを向いて咲いている花にするのか、そして、どう飾るかをイメージしてもらい、花器とお花を選びます。もうそこからのぎやか。初心者には、選んだ花器で、どんな方法で花を活けていくか、ちょっとアドバイスをしたら、あとはもう好きなように自由に活けていきました。

花遊びでは、不思議なくらい、個性豊かに、その時の気持ちがあらわれたりします。活ける人の繊細な部分、大胆な部分も見えたりして、なんだかうれしくなります。

報告書の中にちりばめられた花の写真は、この日の作品です。どうぞ、お楽しみください。(奥野)



### 《11月 離婚前後の親支援講座》

神奈川大学法学プロジェクトの共同研究として、離婚前後の親支援講座を「女性限定」で開催し、同時開催で、離婚に関する子ども向け法教育プログラムを開催しました。こどもステーションは、その運営と親支援講座参加者の子どもたちの託児を担当しました。

離婚前後の親支援講座では、離婚や別居を考える時、また、離婚や別居後、親には、子どもはどんな気持ちなのか、子どもに離婚のことをどう伝えたらいいのか、生活やお金のこと等、広島大学法学部の高田恭子准教授や、臨床心理士・公認心理師の浮田明子さん、ファイナンシャルプランナーの矢野孝江さんからご教授いただき、有用な情報を得て、子どもの気持ちや対応や、生活資金をどう作っていくかということ、離婚直後の自分をケアすることを学びました。ワークショップでは、神奈川大学の井上匡子教授のファシリテートで、同じ立場の親同士で話をしました。心のこと、法律のこと、今後の生活、経済的なことなどを学び、新しい生活に向けての不安を語り合いました。



離婚に関する子ども向け法教育プログラムでは、親の離婚を経験した子どもたち対象に、親子関係や環境の変化を受け入れる力を養うために、生活に関わる「法」を東京の馬場望弁護士ファシリテートで、7人の広島大学法学部の学生さんと一

緒に学びました。いろいろな家族があることや、子どもの権利などについて学び、子どもたちの声をまとめたチャーターを作りました。大学生に自分の思いを聴いてもらうことができたという体験が、子どもたちにはとても貴重な体験になったことでしょう。(奥野)





## 《12月クリスマス会》

今年のしんぐるまざあずカフェの「クリスマス会」は、喫茶コーナー、「チームもこ」の音のひろば、マジシャン伝々と Hannah のマジックショー、サンタさん登場と盛りだくさんでした。

喫茶コーナーは、ひとり親家庭の子どもたち(中学生)に手伝ってもらって、シンママ親子にコーヒーやジュース、お菓子の喫茶コーナーが30分だけの開店で賑わいました。

「チームもこ」の音のひろばでは、オウムのもこちゃんが登場して、子どもたちとの楽しいおしゃべりもありました。歌もみんなに楽しんでもらえて、にぎやかに。最後の曲「だれにだっておたんじょうび」では、12月生まれの人2人の子どもの誕生日とママ1人の誕生日をお祝いしつつ、生まれて来てくれたみんなの誕生日もお祝いしました。



マジックショーでは、伝々さんと Hannah さんのマジックが会場全体を魔力で弾き込みました。子どもたちが手を挙げて前に出て行くわ、客席で静かに見ていた子どもたちも引き込むわ。大人も子どもも魅了されました。

毎年ローラースケートを履いて登場していたサンタさんは、今年は靴を履いてきていました。こどもステーションからも参加者の皆さんにプレゼント。子どもたちには、毎月お米を寄付してくださる方が子どもたちにプレゼント

してくれたお菓子と、(財)キワニスさまから助成していただいた資金で購入したお菓子の詰め合わせ。ママたちには、コスメバンクからいただいた化粧品のプレゼント。プレゼントの発表のときには、「キャー」という喜びの悲鳴があちこちから聞こえました。

自己満足で申し訳ないのですが、とっても楽しいクリスマス会でした。(奥野)

## 《アンケートから》

- ・みんなを楽しませようとされているスタッフの皆さんのあたたかい気持ちが伝わってきました。プレゼントもたくさんいただいて、こんなにいただいていいのだろうかと思うほどでした。感謝しかありません。本当にありがとうございました。
- ・カフェも美味しい物が食べられて、手品も迫力があって、音遊びも子ども達が太鼓叩いたり、とっても楽しかったみたいです。
- ・子ども達も喜ぶ笑顔の絶えない心温まるクリスマス会だったことと、子どもや子どもを持つ母親にとって、元気と笑顔を与えてくれるクリスマス会でした。
- ・とても、素晴らしいマジックショーで、もちろん大人もですが、子ども達を魅了させるマジックショーを間近で見れたことは、本当に感激でした！これからの活躍も陰ながら、応援しています。
- ・スタッフさんの皆様の熱い想いが、心に伝わり、感動の一日でした。子どもさんへのクリスマスプレゼントはもとより、一生懸命 日々、頑張られているお母さんへのプレゼントをされるお心遣いにも感動してしまいました。おかげさまで、私自身も明日も頑張ろうという気持ちになりました。本当に有難うございました。





## 《1月ミニ講座「今年こそ家計簿」》



講師にファイナンシャルプランナーの矢野孝江さんをお招きし、ミニ講座を開催しました。

カレンダーに記入していく方法で簡単に実行できそうな「家計簿」のつけ方を教わりました。収入と支出を把握する事から家計管理が始まると言われ、支出の見直しをする為に家計簿をつける。そしてそこからお金に対する不安を払拭していく。参加者の方からは、「この方法なら続けられる」と話されていました。（川本）



## ②ひとり親家庭のための子ども食堂「こども食堂もこちゃん」



数値目標：9回／年（4・5・6・7・10・11・12・1・3月） 450人

数値結果：9回／年（4・5・6・7・10・11・12・1・3月） 461人

会場：こどもステーション事務所（ハートラボキッチン）&もこルーム

### 《子ども食堂もこちゃんの一年を振り返って》

事前予約で、会食かお弁当の持ち帰りかを選択して貰っています。毎回、申込受付開始直後に予定数量に達してしまい、申込受付を閉めてしまう状況です。希望する方全員にお届けすることができないのが申し訳ないです。

今年度も昨年同様、メニュー表や使用した食材などを記入したものやまたアンケート用紙なども各世帯に配布しています。食事をしながら会話が弾む

とも聴いています。大人用とこども用に分けて記入して貰っているアンケートには、主催者として嬉しい言葉を頂いています。

食材は地元で採れた季節の野菜などその時の旬の物、ご寄付などで頂いた物を活用しています。野菜など生鮮食品は、こども食堂開催に合わせてご寄付くださる方もあり大変ありがたく思っています。

事前予約の際に、申込フォームに書かれた近況などを読み、こども食堂当日には、お弁当の受渡しや、もこルーム

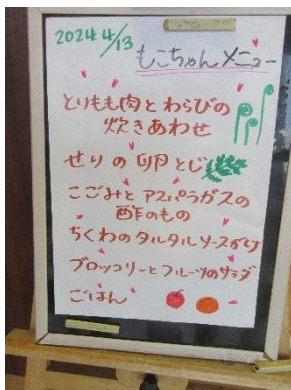
で召し上がっている間に、個別に話を伺っています。内容によっては、相談や支援に繋がっています。ママ達が話せる場所、『ひとりではない』と感じて貰える場所であり続けたいと思っています。

（川本）



## 《月々の報告と利用者の声(アンケートから)》

4 月 13 日(土) 49 食 (母 18 人、子ども 31 人)



(食卓でどんな会話がありましたか?)

- ・山菜はなかなか食べる機会がないので、これは何?と興味津々でした!
- ・わらびやせりはなかなか食べる機会がないのでこんな味なんだねー
- ・"これおいしいね(酢の物)、これはなに?(アスパラ)ちょっと苦手ー"
- ・初めて蕨(わらび)を見たので『これなに?』と興味深々でした。

5 月 25 日(土) 52 食 (母 16 人、子ども 36 人)



(食卓でどんな会話がありましたか?)

- ・野菜が美味しいと言い、サニーレタスのサラダを食べました。
- ・子どもがメニュー紹介してくれました。
- ・べったら漬って、どうやって作るんだろうね。

(子どもアンケート)

(自由記述)

- ・いつもありがとうございます。丁寧に盛り付けられたお弁当を見るだけで、気持ちが温かくなります。冷めても美味しいのが嬉しいです。
- ・いつもありがとうございます。子育てしながら仕事するのが本当に大変で、風呂場で爆睡している事も多々あり、忙しくしています。お弁当の日があるとおぼとてできます。味付美味しいです。酢鶏のお酢のお陰で、疲れたからからだかリセットされました。



6 月 22 日(土) 49 食 (母 18 人、子ども 31 人)



### 今月の人気メニュー

第1位!! 豚ヒレ肉の青椒肉絲

第2位!! 白ご飯!

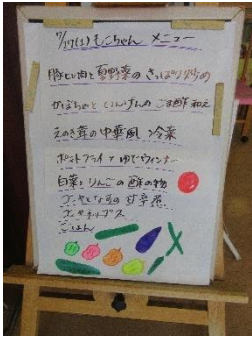
(なんと、白ご飯がランクイン!)

第3位!! ポテマカサラダ

- ・酢の物は子どもがあまり得意ではなく、普段作る機会もほとんどないため、お弁当に入っていると嬉しいです。ここ最近ほとんど寝れなかったので酢の物食べて疲れがとれました。
- ・珍しい食材が使われていると、家族で話が盛り上がります。子どもも、知らない食材は食べてみたいと興味をもってくれるようになりました。いつもありがとうございます。



7 月 27 日(土) 47 食 (母 17 人、子ども 30 人)

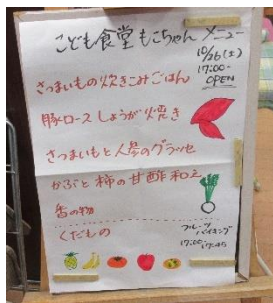


当日のご寄付で、ゴーヤ・トマト・紫蘇などをたくさんいただきました。メニューにも組み込みましたが、使いきれない分は、お持ち帰り用食材にして世帯分で分け、持ち帰っていただきました。季節のお野菜、大変ありがたいです。

(大人アンケートより)

- ・普段ゴーヤ料理はしないので、ゴーヤがたくさんで夏だねと話しましたごちそうさまでした。
- ・子どもが「これ私のお弁当!」と嬉しそうに言ってました。
- ・毎月一度お弁当があるので楽しみなのとすごく有難いと思っています。
- ・ゴーヤが子どもには無理でしたが大人は美味しく頂きました。お肉も柔らかくて良かったです。
- ・ゴーヤを久々に食べたので子どもは苦いと言っていました。夏野菜たっぷりメニューで健康的なお弁当でした。

10 月 26 日(土) 48 食 (母 16 人、子ども 32 人)



前日に、たくさんのさつまいものご寄付があり、この日のメニューは芋多め。ユコウのご寄付もあり、参加者にお配りしました。

一般社団法人 篠原欣子記念財団様より、令和 6 年度子ども食堂対象フルーツ支援助成もあり、フルーツバイキングを開催しました。いつもはご飯を全く食べずに遊んでばかりいる子ども、喜んでフルーツ

を取りに来て、ママのそばでちょこんと座って、フルーツを食べていました。パイナップルと葡萄、柿が大好評でした。

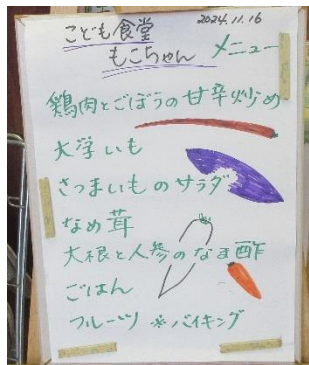
また、今回は、ケログ毎日朝ごはんプロジェクトさんよりご提供いただいた、チョコクリスピーを参加した子どもたちにお渡ししました。

《アンケートより》

- ・この度は、私の子どもにとって苦手というものが多かったのですが、サラダのリンゴや酢和えの柿など、興味をもって少し食べてくれました。私は、野菜もたっぷりで、生姜焼きがすごくおいしかったです。子どもは添えられてる果物に大喜びでした。。
- ・さつまいも甘みあっておいしかったです。子どもは「炊き込みご飯おいしいよね」と言って食べていました。ごちそうさまでした。
- ・毎回本当に豪華で、どこで食べるご飯よりも美味しいものをご馳走してくださってありがとうございます。子どもはお肉が大好きなので、もう少しお肉が多いととても嬉しいです!



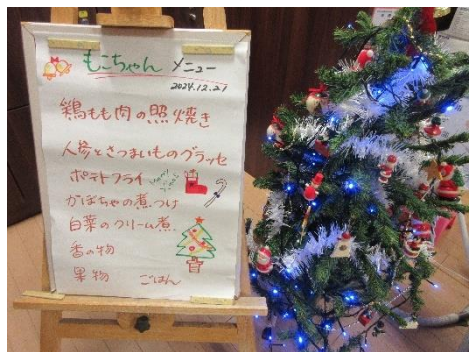
11月16日(土) 51食(母16人、子ども35人)



- ・いつも美味しいご飯をありがとうございます。自分で作ったことの無い、手作りの暖かさのあるご飯が毎回嬉しいです。
- ・初めて利用させてもらいました。お弁当なんか買う事がなく、「お弁当!! 今日お弁当なん? やったー!」っと子ども達は大喜びしました。食べる前から美味しそうでボリュームもあって。色々な食材が使われててバランス

も良く、栄養たっぷりのお弁当でした。お弁当全部がとっても美味しかったです。幸せなひと時でした。普段食べる事がないものばかりで「美味しいねー美味しいねー」と会話をしながらいただきました。子どもが嬉しいように食べる姿、残さず食べる姿、パクパク食べる姿、普段みれない姿が見れました。「たくさん食べれて美味しかったー。お腹いっぱい。また食べたいなー。」と大満足な子ども達を見て涙が出そうになりました。普段食べたいものを中々食べさせてあげられない気持ちに申し訳ない気持ちでしたが、今回利用させてもらえて本当にヨカッタです。とっても美味しい料理に愛情たっぷりの料理ありがとうございました。

12月21日(土) 63食(母25人、子ども38人)



お弁当に入りきれないほどのフルーツを別のパッケージにしました。12月はクリスマス料理です。なかなか手に入らない鶏もも肉を予約購入して、照焼きにしてご飯に乗せました。白菜・大根・里芋・カブ・柚子・キーウィなどのご寄付や、子どもたちにクリスマスプレゼントとして、国際ソロプチミスト福山様から「サッポロポテト」のご寄付もありました。すでにいただいていたその他のお菓子と詰め合わせて、40人の子どもたちにお菓子のプレゼントをしました。

#### 《アンケートより》

・今日はたくさんありがとうございました。2回目なのにスタッフの方に名前を覚えていただいていた、びっくりしました。凄く嬉しかったです。ありがとうございます。

・お弁当にお野菜にお餅に果物に子ども達のプレゼントにと、色々ありがとうございました。お正月に向けて買い出ししなきゃって思ってたので頂いた物でお正月がこせそうです。子ども達のプレゼントも喜んでました。ありがとうございました。

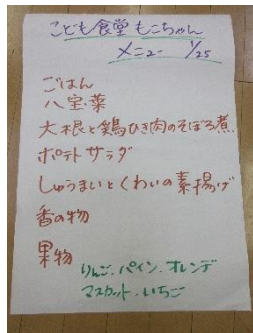


・今回下の子と一緒に伺いましたが、恥ずかしがって車で待機してました。その子がお弁当を見るなり「お弁当ー。やったー。」っと大喜びして「早く食べたいなー」っと。帰るなりお弁当を食べました。「今回はクリスマスお弁当だね。クリスマス会みたいだね。」と嬉しそうな子どもたち。「美味しいねー。これ食べてみー。絶品よー。」っと会話が止まらない子ども達。みんなで美味しくいただきました。ありがとうございました。



- ・クリスマスらしいことができそうにないと思っていましたが、今日、クリスマス食事ができました。フルーツも減多に食べられないので、子どもたちは大喜びでした。
- ・お弁当にもフルーツが入っていたので、バックの方のフルーツは、スポンジとクリームを買ってきて子ども達とクリスマスケーキを作りました。ケーキも高くても買えなかったの。フルーツたっぷり豪華なクリスマスケーキになりました。今までにないケーキになり子ども達の喜ぶ姿がみれました。本当にありがとうございました。
- ・鶏肉の照り焼きがドーンとご飯の上に乗っていてご飯にも味がついていて、白菜のクリーム煮は白菜がトロツとしていて美味しいし、「全部美味しい!」と言って食べていました。美味しかったです。
- ・年末に本当にありがとうございます、とても助かります!お餅も頂きお正月が楽しみになりました!

1月25日(土) 53食(母18人、子ども35人)



#### 今月の人気メニュー

- 第1位!! くわいの素揚げ
- 第2位!! ハンパ
- 第3位!! シュウマイ

今月が、フルーツ助成最後の月。たっぷりのフルーツの皿があつという間にからっぽになりました。

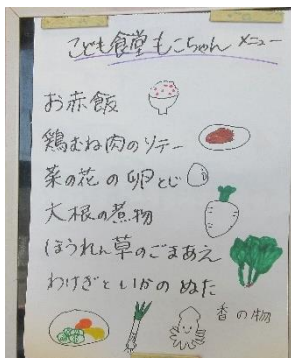
ちょうど今日、誕生日の子がいて、「今日僕誕生日なんだ」と教えてくれ、みんなでハッピーバースデーを歌いました。少し照れていましたが、なんだか誇らしげな表情が、嬉しかった。ママは、「誕生日のお祝いが何もできないと思っていたけど、今日皆にお祝いしてもらって、美味しいお弁当も食べさせることができ、良かった」と涙ぐんでいました。おめでとう。生まれて来てくれてありがとう。

#### 《アンケートより》

- ・お弁当の日いつ?まだかなあ?っと月に一回のお弁当を楽しみにしてる子ども達。お弁当見るなり、やったー!!っと喜んでました。ずっと楽しみにしてたので嬉しさが倍増でした。
- ・どこの高級な外食よりもここのお弁当が一番おいしくて、本当にいつも楽しみにしています。味がとにかくどこの物よりも美味しいです。今回もごちそうさまでした。ありがとうございました。
- ・野菜が高くなって中、たくさんの種類の野菜を食べれてありがたいです。ごちそうさまでした!



3月22日(土) 49食(母19人、子ども30人)



卒業式シーズンということもあり、今日のご飯はお赤飯。

メニューのイラストは、大学生ボランティアのゆいちゃんが描いてくれました。ボランティアさんの人数もどんどん増えています。



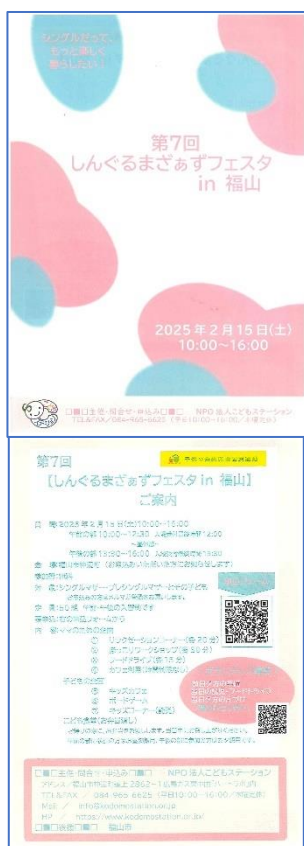
お弁当には、アンケートの 2 次元コードをつけたメニュー表をつけてお渡ししています。メニュー表には使用した食材を記載して、アレルギーに配慮しています。

また今日は、「離婚前後の親支援講座」でお世話になった フェリス女学院大学の山本千晶さんから、ママと子どもたちへお菓子のプレゼントがありました。

《アンケートから》

- ・「これ美味しいね！これも美味しいね！全部美味し〜✨お腹いっぱい！」と、初めてでしたが、完食して、すごく嬉しそうでした！心のこもった手作り弁当と、お菓子もありがとうございました！
- ・今回の菜の花もそうですが、季節を感じられるものは特に嬉しいです。こまやかな心遣いありがとうございます。
- ・食べている時、話かけてもらえて嬉しかった。普段の暮らしでは、私からこどもに話かけるばかりだから、なんだか嬉しかった。こども達が少し遊んで帰れたり、食べる時ができたり、少しの時間でしたが、楽しかったです。ありがとうございます。

### ③しんぐるまざあずフェスタ



数値目標：1 回／2 月

50 人

数値結果：1 回／2 月 15 日(土)

93 人(母 42 人、子 51 人)

会場：福山市かなべ市民交流センター3階全室(スタッフ8, ボラ 20 人)

今年は、準備を早めに進めました。10 月に福山市の名義後援を申請し、11 月に、チラシ印刷。ボランティアの募集も兼ねて、社会福祉協議会の通信紙にチラシを挟み込んでいただきました。フェスタに向けた食品寄付のお願いも 10 月から進めました。申込開始は 1 月 7 日。事前に告知していたためか、翌々日には、ほぼ定員になるほどの人気ぶりでした。

しかし、2 月になっても、食品の寄付が思うように集まりませんでした。猛暑の影響でお米や野菜などの不作なのか、物価高などの影響か。と半ばあきらめていましたが、2 月初旬に、これまでに寄付を頂いたことのある団体・企業・個人様に、ハガキを送らせていただきましたら、早速にその成果があり、フェスタ当日まで切れ目なく食品が届き、整理するスタッフは仕分けに追われ、とても嬉しい悲鳴をあげていました。ご寄付者さまの中には、「どんな？集まった？」と、食品の集まりを一緒に心配をしてくださり、私たちを支えている方々の気持ちを感じました。

おかげさまでボランティアでの参加希望者も大勢集まり、前日と当日の荷物の運搬用トラックも確保でき、フェスタ前々日に、実行委員会を ZOOM で開催しました。全員が共通の意識を持って活動の内容や動きを共有できたことは、当日のスムーズな動きに繋がったと思います。各ブースに分かれてのグループトークで、活動内容も確認し合うことができました。

当日、開場前から参加者が集まり、整理番号を付与して、キッズカフェのコーナーで待っていただきました。整理番号順に受付をして、希望のイベントの予約を各自にしてもらいました。

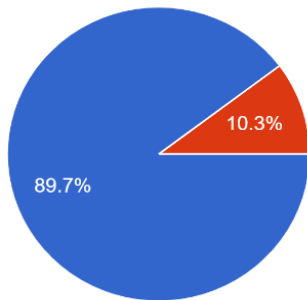
終了後、片付けをほぼ終えて、1 部屋に集まり、振り返りをしました。記憶が新鮮で、みんなでやり遂げた雰囲気も相まって、スタッフとボランティアさんの境目がなく活発に意見や感想が出ていて、最後まで全

員で時間を共有することができたことは、とても有意義な時間になりました。

今年も大好評のイベントとなりました。終了時の幸せ度数が、大幅にアップしています。

「しんぐるまざあずフェスタ in 福山」と名付けたシングルマザーとその子どもたちのためのイベント。このイベントの輪が広がり、福山市行政や社会福祉協議会、各種団体や企業とも連携して、福山市内のシングルマザーとその子どもたちが、「福山に暮らしてよかった」と思えるような街づくりをしていきたいと思っています。（村上・奥野）

## しんぐるまざあずフェスタの満足度は？



- 大変満足
- やや満足
- あまり満足できない
- まったく満足できない



### ①フードドライブ(利用者 41 人)

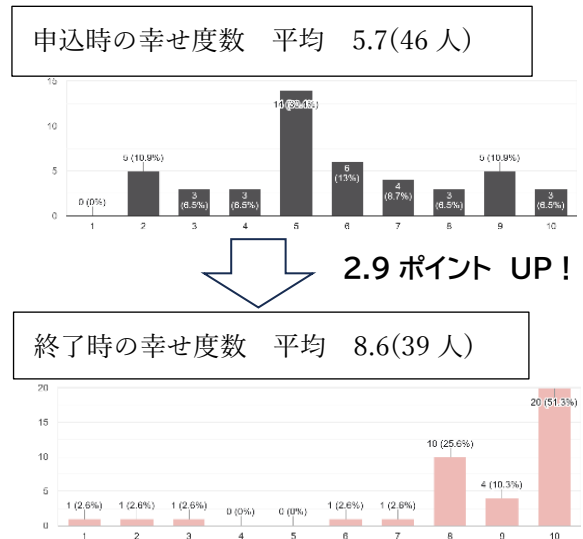
フェスタでは自分が欲するものを持ち帰ることが出来る、フードドライブコーナーが毎年大盛況です。品物を選びながら、自分が必要な物を自分が決めて持ち帰るという行為は自分に決定権があり、エンパワメントされている瞬間と実感します。どの時間帯に来ても全ての人に同じように持ち帰れるようシステムを工夫しています。みなさん、自分が選んでいる時は真剣です。時折食材の質問を受けたり、近々の様子を話してくれたりします。品物を選び終わると笑顔の素敵なママ達がありました。（川本）

昨今の物価上昇の中、シンママたちの家計も苦しさが増しています。遠慮しがちなママたちには、スタッフが声かけながら段ボールいっぱいに詰めていきます。普段我慢しているお菓子や、珍しい調味料、そして何と言っても今年はお米、麺類等の主食を希望する人が多かったです。頼もしい学生ボランティアさんが荷物を運んでくれたり、ママたちとおしゃべりしたり、テンションの上げ上げで笑顔が見えました。フードドライブはお腹を満たすだけでなく、本当に心満たされるものだと思います。（中村）

### ②リラクゼーション(利用者 39 人)

リラクゼーションコーナーは、からだほぐし・こりほぐし・メディカルアロマ首肩ほぐしヘッドスパ・アロマハンドトリートメント・ヘリオセントリック占星術の5つのバリエーションから、参加者が好みを優先して選んでもらい、20分ずつの施術で実施しました。他の催事と兼ね合わせて無駄なくリラックスしてもらえたと思います。セラピストの対応が優しく丁寧で、参加者の皆さんは、十分にリラックスできたことと思います。

『自分だけの時間を持つことが当たり前ができる』ことが自分自身の精神安定につながっているとの声を多くの参加者からいただきました。（小川）



《しんぐるまざあずフェスタのためのフードドライブ用に食品のご寄付をくださった皆様（敬称略・受取順）》

【個人様】

亀山 学	井上 恵子
坂田 章子	猪原 妙子
明石 貴史	宮本 千晴
佐藤 智菜	妹尾 孝子
玉谷 誠	土井 孝一
服部 房子	深谷 朋子
石川 智景	下田 美佳
寺岡 貴美子	吉津 賢三
徳永 淳子	和田 富美子
早川 知江	松本 京子
中宅間 智子	伊達 紀子
古志 靖之	森井 満佐子
橘高 則子	中山 純子
宇田 豊	村田 素子
佐藤 朋章	藤井 亜加里
吉津 和斉	吉本 恒夫
中元 由起子	佐藤 治子
石岡 真由美	他、匿名・理事

【お寺様(地域)】

浄泉坊（赤坂町）	観音寺（北吉津町）
専光寺（大門町）	光徳寺（神石高原町）
天徳寺（田尻町）	光栄寺（幕山台）
萬念寺（神辺町）	勝願寺（神辺町）
正光寺（広島市）	光円寺（大門町）
安楽寺（山野町）	西福寺（神辺町）
常国寺（沼隈町）	明泉寺（駅家町）
地藏院（鞆町）	實相寺（北吉津町）
蓮華寺（今津町）	妙蓮寺（水呑町）
西運寺（加茂町）	教西寺（神石高原町）
光蓮寺（神辺町）	泉龍寺（駅家町）
玄祥寺（水呑町）	光行寺 仏教婦人会
光栄寺（幕山台）	浄土真宗本願寺派備後教区 深津組
	他、匿名

【団体・企業様】

バンクフォースマイルズ	ハーモニーネット未来
コスメバンクプロジェクト	福山市社会福祉協議会
福山東ライオンズクラブ	国際ソロプチミスト福山
第34区民児協 中条支部	福山フラワーライオンズクラブ
第34区民児協 道上支部	株式会社まるじょう
第34区民児協 湯田支部	食協株式会社
にこにこ福祉会	有限会社ナガヒサ建装
ひなぎくこども園	

たくさんのご寄付を  
ありがとうございました。



③ワークショップ(利用者 38 人)

今年度のワークショップの企画は「アロマセラピー」「花遊び」と初お目見えの「苔テラリウム」でした。

「苔テラリウム」は、どの時間帯も大盛況で、ママ達は、グラスの中に思い思いの自分だけの世界を作ることになり、夢中になっていました。



「アロマセラピー」は、精油をブレンドした自分の好きな香りに包まれ、ママ達は幸せそうで、お喋りをしながら香りの違いを楽しむ姿も見られました。



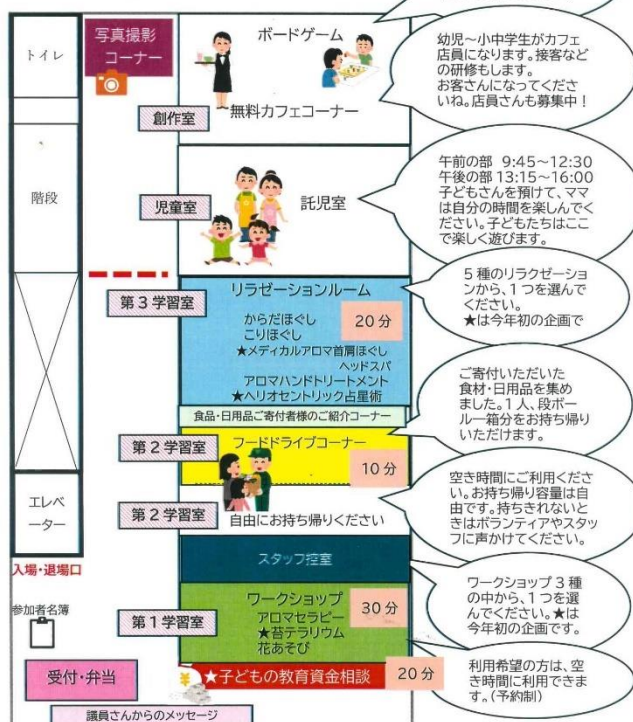
「花遊び」は、去年のフェスタや 10 月のしんママカフェで経験済みのママが多かったからか、参加は少なかったですが、それぞれセンス溢れる素敵な作品が 出来上がりました。



ワークショップは、毎年講師の方のご協力で、自由な創作体験ができて、心が解放される上に、作品のお土産付きの企画です。おうちでもママ達が、自作の花や緑の苔、オリジナルの香りに癒され、少しでもリラックスできているといいなと思います。(内田)

## 《会場図とリラクゼーション》

福山市 かなべ市民交流センター 3階(の図)  
※エレベーターで上がってきてください。



## ④子どもの教育資金相談(利用者7人)



アンケートから、「教育資金について相談を受ける前と受けた後で、変化がありましたか?」の問いには、【変わった】と回答された方が全員でした。また、「教育資金について漠然としていたことが、数字などで解りやすく説明して貰えたのでとてもわかりやすかった」「どのタイミングでお金が必要か、今どうしたらよいか(貯蓄)など教えて貰えてよかった。」「いつお金が必要になるかわかることで、家計の管理が大切であることがわかり、近い未来に向けてこどもの為にまた私自身の為に お金を貯めていこうという気持ちを持つことが出来た。」など寄せられていました。

教育資金相談を受けることで、それぞれ金銭的な不安が少しでも解消出来たように感じました。具体的な数字をみて制度について理解することで、目標を持って教育資金を貯めていくことに繋がってよかったと思います。(川本)

### ⑤託児コーナー(利用者 32 世帯、こども 49 人)

今年も無事に終わられたことにほっとしています。

昨年より託児人数が 2 倍近くになることが分かったときは、驚きとスタッフ確保の心配をしましたが、しんぐるまざあずカフェやこれまでのフェスタでの託児利用経験があるママたちが、安心して預けられると思ってきているなら嬉しいことだと思いました。



ママたちの安心な時間と、何より子どもたちが楽しめる時間にするために、ボランティアさんを含めた当日スタッフで、事前の打ち合わせや顔合わせを行ったことはスタッフの安心に繋がりました。また、数日前に託児に特化した研修があったことも良いタイミングでした。

子どもたちは託児室で遊ぶだけでなく、隣の部屋でカフェやボードゲームに参加することもでき、その部屋を隣接させたことで、子どもたちの行動の自由度が増したようにも思います。弟・妹など、自分より年齢が下のきょうだいを世話する子には、「大人が見ているから、好きなことして遊んだらいいよ」と声をかけることもあり、ままごと・ミニカー・折り紙・お絵かき・本や絵本、泣く子・笑う子・お喋りする子・静かな子・寝る子・ウロウロする子などなど、それぞれの自由な言動が混ざり合って託児室は賑やかでした。

スタッフ全員が、「子どもたちの中で生じる様々な感情を受け取りながら、その気持ちにテンションを合わせ寄り添う」という姿勢を大事にして、子どもたちに関わっていたことをとても微笑ましく感じました。

来年に向けて、スタッフの個々が持っている対応力をより活かして、より動きやすくなるように、段取りの伝え方や動きがスムーズに行くよう工夫したいと考えています。（川内）

（しんぐるまざあずフェスタ参加者のアンケートより～こども託児～）

・担当してくれるスタッフさんやおもちゃも沢山あり、安心して預けることができました。子ども自身もすごく楽しかったみたいです。まだ小さいので託児がなければバタバタ大変だし、この企画に参加できてませんでした。あと、荷物の管理や名前シールを貼ってもらえたり、預けるにあたり、工夫されており、とてもいいな！と思いました。

・本日、生まれて初めて託児を利用させて頂きました。子どもは後追いや人見知りの時期でもあり、大泣きしていましたが、スタッフの方が優しく寄り添い対応して下さいました。心配になって何度も様子を見に行く私にも「大丈夫だから、リフレッシュしてきてね。」と温かいお言葉を掛けて下さり感謝の気持ちでいっぱいになりました。私も娘も人の優しさに触れることが出来、前を向いて頑張っていけるような気がしました。ありがとうございました。

### ⑥キッズカフェ(利用者 13 世帯、こども 15 人)



子どもが、ママのための無料カフェコーナーのカフェ店員になりました。昨年から楽しみにしていた子もいて、今年も大好評でした。ママたちはママたちの時間を満喫しているため、お客さんが少なく、「働く気もち満々！」の子どもたちには、ちょっと物足りなさがあったり、いらしたお客さんを取り合いになっ



たりしてしまう場面もありました。スタッフが客になって接待してもらうことや、ボランティアスタッフさんと一緒に、各コーナーに出張で注文を取りに行ってもらったりして、場をしのぎました。これはこれで大好評



です。「いらっしゃいませ」「ご注文は何にいたしましょうか」と研修を受け、エプロンのポケットにオーダー用紙とボールペンを挟んで働いている、子どもの可愛らしい姿をママたちにぜひ見てもらいたい。私はお茶を何杯も飲んだので、お腹がタポタポでした。（奥野）

#### ⑦ボードゲーム(利用者 13 世帯、こども 18 人)

今年も、かんがる一塾の松本理さん、松本侑佳さんに、子ども見守りスタッフに入っていただき、ボードゲームコーナーを設置しました。ボードゲームは、ファシリテーターがいることで、子ども同士の交流にもなり、安心してお任せできます。（奥野）



想像以上にたくさんの子供たちがボードゲームを真剣に楽しんでいる様子が見られて、スタッフとしても楽しくやりがいがありました。また、昨年来てくれた子にも会えて嬉しかったです。（松本）

（しんぐるまざあずフェスタ参加者のアンケートより）

- ・ 私たちのために、沢山の品々やイベントを用意、準備してくださりありがとうございました。とても充実した時間を過ごすことができました。正直、離婚や離婚後の手続き等で沢山嫌な思いをしていたので、このような暖かいイベントを開催して頂き、救われたような気がしました。
- ・ この会があるたび、「もう1年、頑張って生きてみよう」と思えます。
- ・ とても楽しくて、リラクゼーションで癒やされて、フードドライブなどで、たくさん食品などいただいて、家に帰ってからもいただいた物を食べる楽しみや使う楽しみができて、大満足でした。
- ・ 準備大変だと思いますが、みなさん笑顔だったので安心して利用できました！ 遠くから利用して運転が長かったです、また利用したい！と親子共々思いました！
- ・ みなさん、優しかった。行って良かったです。お弁当も美味しかったです。ありがとうございました。
- ・ まず、久しぶりにスタッフの方に会えたこと、じーんときました。なんか、ファミリーのような感じです。行く前は楽しみだし、帰りは嬉しくて、ずっと嬉しいです。満足です。
- ・ 迷ってるとすぐ声をかけて貰えて安心してその場にいました。やはり顔見知りの方がいると安心します。ここ最近しんどい時期が続いてましたが、話をしたり、色々と体験ができたりして、少し楽になった気がします。
- ・ たくさんの人が来場されていてシングルの仲間が沢山いることに励まされました。助けていただくばかりでなく、私も誰かの助けになれるよう頑張ります。



Café Macro 美与利さんのお弁当

《しんぐるまざあずフェスタ参加の親子にメッセージををくださった議員様（順不同）》

【衆議院議員】	【参議院議員】	【広島県議会議員】	【福山市議会議員】	
あずまかつや様	三上 えり 様	出原 昌直 様	たかひろ 純様	木村 素子 様
佐藤 公治 様	宮口 治子 様	井上 謙一郎様	坪川 竜大 様	小山 友康 様
空本 誠喜 様	森本 真治 様	緒方 直之 様	畑石 賢司 様	塩沢 光江 様
福田 玄 様		岡部 千鶴 様	的場 豊 様	市民連合議員団様
	【福山市長】	柿本 忠則 様	村上 栄二 様	
	枝広 直幹 様	河村 ひろ子様	山形 しのぶ様	

17



#### ④シングル家庭のためのアウトドア支援

数値目標：いちご狩り／4月、バーベキュー9月

100人

数値結果：いちご狩り／4月27日、バーベキュー9月21日

121人(母43人、子78人)

会場：福山市芦田町 立花いちご農園(いちご狩り)

神石高原町 ティアガルテン バーベキューハウス(バーベキュー)

《いちご狩り 参加者 母：21人 子ども：35人》

(アンケートから)

- ・物価高もあり今年のGWは自宅から近くの公園以外レジャーに行けていなかったのですが、私自身もそうですが子供達にとっても連休中の貴重な思い出と経験になりました。いちごも普段は高くても買わないので、お腹いっぱい食べられてとても幸せでした。
- ・私自身も、母子家庭で育ち、子ども達同様このような経験をした事が無かったです。ひとり親としては、家計の面でカツカツの中、決して安くは無い(普通に行くより断然お得な)参加費(1世帯1000円)でしたが、そこを渋らずに行けて良かったです。親子共に、何にも代えられない経験と思い出が出来ました。
- ・シンママ同士の交流で、こどもの悩み等相談出来たりアドバイス貰えたりとっても、助かった。いちごも普段は高いから、難しいけど...イベントで参加しやすく助かりました。ありがとうございます。
- ・遠方からの参加でしたが、疎外感を感じないよう気遣って頂きありがとうございます。普段外出しない子供が出掛けてくれるキッカケになって良かったです。



～中国ろうきんの  
コミュニケーションマガジン  
vol.13より～

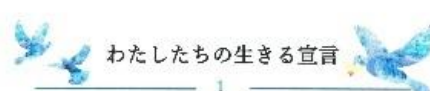
《バーベキュー会 参加者 母：22人 子ども：43人》

(アンケートから)

- ・子どもらと屋内でお肉を焼いて食べるなんて機会なく、少ない出費ですごくよい体験をさせてもらえてとても楽しかったです。
- ・焼肉！焼肉！と前日から保育園でも大騒ぎ...。子どもの嬉しそうな姿と美味しいお肉で、私も胸もお腹もいっぱいです！



・初参加だったのでどんな感じか子どもが少し不安もあったのですが、楽しく過ごせていたので良かったです。自然いっぱいな場所も自由に遊べて楽しめました。



わたしたちの生きる宣言

- 1 わたしたちは、ひとり親家族がひとつの家族の形だと考え、誇りをもって生きていきます
- 2 わたしたちは、離婚・未婚・非婚・死別など、いかなるいきさつでひとり親となったとしても、お互いに生き方を尊重します
- 3 わたしたちは、親として子どもを大切にすると同時に、自分自身も尊重し大切に生きていきます
- 4 わたしたちは、ひとりだけでものごとを解決するのではなく、必要なときに助けを得て生きていきます
- 5 わたしたちは、同じ立場のなかまと出会うなかで、つながり、元気をわかちあっています

©2014 日本ろうきん連合会 福山市 子育て支援センター 福山市 子育て支援センター

私たちの生きる宣言  
By JSPF

- ・「こんにゃくは今年もあるかな？」と楽しみにしていました。お肉やお野菜も1人前がたくさんあり、お腹いっぱいになったねと話しながら帰りました。
- ・自分達だけではなかなか、バーベキュー会場とかに行けないし、一人でこどもを見ないといけないので、家でもできません。今日は、ボランティアのお姉さんのおかげでゆっくり食べれました。大感謝。お話も楽しかった。



## 2. 食品支援 「もこちゃんパック」

数値目標：240 世帯（20 世帯／月×12 月）

数値結果：623 世帯（郵送お渡し 256、事務所でのお渡し 305 世帯、お届け渡し 62 世帯）

### 《もこちゃんパック発送して》

物価高騰そしてお米の供給不足など大変な1年でした。食品支援の応募は毎月相当数になり、増加の1途をたどっています。応募して貰う際、近況などを添えて貰うのですが、「食事の回数を減らしてこどもに食べさせている。ママ自身は1日1回しかとれていない」「こどものおやつは量や回数を減らしている」など記載されているものが多く見受けられました。一段と困窮している状態であることが伺えました。希望する全ての世帯に送付したいのですが、ひと月に送れる数は限りがあります。

ご寄付で頂いた食品などをパックにして送付しています。届いた方からは『ありがとう 助かりました』の言葉を多数頂きます。この言葉は私達スタッフにも温かい言葉として響いています。（川本）

配送の際には、食品支援の他に、ママたちの気もちがホッとするように、毎月メッセージを添えてお贈りしました。また子どもたちに向けては、昨年度作成した「子どもの権利カード(下敷き)」や「もこちゃんカード」を同封しました。これからも“あなたは大切な人”というメッセージを送り続けたいと思っています。

また、福山市ならびに広島市から送られてきた近況報告については、個人情報かわからないように報告の内容に注意して取りまとめ、福山市・広島市のひとり親支援に係る機関に実情を伝えました。（奥野）

### 《食品ご寄付への感謝》

年間を通じて、個人様や企業、お寺様など155か所から、296回の食品支援を受け取りました。皆さまの温かいお気持ちに心より感謝申し上げます。

11月に、福山市内と近隣市町のお寺さまに、「フードドライブの食品支援のお願い」を「しんぐるまざあずフェスタ」のご案内とともに発送しました。更に、しんぐるまざあずフェスタの開催される2月には、開催に向けた食品提供のお願いハガキを福山市内のお寺様やこれまでご寄付いただいた皆様に発送させていただきました。（奥野）



### 3. 若年・ひとり親のため食事支援・生活支援

数値目標：整理収納	6 人×10 時間=60 時間
食事作り	3 人×12 回=36 回
家計管理	24 件
数値結果：整理収納	2 人×10 時間、他 2 人 5 時間
食事作り	59 回／12 人
家計管理	2 回／2 人 全託児 5 回／3 人



会場:整理収納・・・当事者宅

食事作り・家計管理・・・当事者宅または事務所

#### 《食事・生活支援の一年を振り返って》

**食事支援**は、当事者宅に出向いたり、こどもステーションのキッチンで調理したりと利用者の都合に応じて対応しました。当事者宅に出向くメリットはその家庭にある道具や調味料で料理を作ることが出来ます。また、こんなものがあったら便利だろうと思い、支援者が持参したもので調理もしました。



時短メニューで作ったおかずを「自分一人で作ってみた」と話してくれたママ。何を作ったのが尋ねると、「パスタ・サンドイッチでサンドイッチは買うものと思っていたが、手軽に作れることがわかった。」と話され、また「手作りの料理は美味しいと感じたし、時短でも料理が出来たことで、料理の苦手意識が変わってきた。時短で出来ることをもっとしてみようと思った。」と話してくれ、エンパワメントされていると実感しました。とても嬉しかったです。(川本)

**家計管理**は、物価高騰で節約しようと思っても、なかなか節約できず、前に向いて進めない。どうしたらいい?と言う事が多くありました。

収入と支出の把握が家計管理の第一歩であることをお話しし、まず、1ヶ月の収支を可視化してみる事から始めていき、継続することにより、将来のお金に対する不安を取り除いていく。不安が払拭されることによって自己肯定感が上がっていくと思われます。(FP 川本)

**整理収納**では、『今 現在』というところに目を向けて行きます。日々、時間に追われて生活しているママ達は、ゆったりと『今に』目を向けることはなかなか難しい事でもあります。また、生活していく不安から物を溜め込んでしまっている現状も見受けられます。



何から片付ければよいのかかわからず、心の中もごちゃごちゃして空回りの状態と話されていた方が、整理収納が進むにつれ、心もスッキリし、悩んでいる事もどうやっていこうかと前向きになったと聞いています。「物が片付くことで生活もしやすくなり、心にもゆとりが生まれ前向きに変わってきています。」と話して下さり、整理収納はエンパワメント出来るツールであることを私自身感じました。(整理収納アドバイザー川本)



#### 4. 相談・同行支援・カウンセリング・連携支援

数値目標：相談・同行支援・連携支援	100 回／200 人(託児含む)
カウンセリング・TF-CBT	30 回／100 人(託児含む)
数値結果：相談・同行支援・連携支援	441 回／託児 35 回
カウンセリング 30 回／託児 2 回	TF-CBT 7 回／1 人



会場：相談・同行支援・連携支援 電話・来訪・当事者宅など、カウンセリング 相談室

##### 《相談・同行支援、カウンセリング、連携支援の一年を振り返って》

子育てひろば、ひとり親家庭支援、子ども・若年支援の活動の場では会う親・子・若年に対しての相談・同行支援、連携支援と、そこに係る託児を行いました。またその中から、カウンセリングやシェルター入居、退居後の中長期支援に繋がっています。イコール福山で相談される方の託児に出向き、その後の支援も継続して必要な支援を行っています。カウンセリングは、支援員が受けた相談から、ご本人が希望された方をカウンセラーに繋がっています。

経済的な心配なく、ひとり親家庭がカウンセリングを受けることができるようになれば、家庭はますます安定して、子育ての支援につながり、子どもたちの心理の安定性も有効的に高まるであろうと思います。DV・児童虐待から離れてひとり親家庭となっている親子が、中長期的な支援を見据えて支援できるように行政への働き掛けも含めて、活動していきたいと思っています。

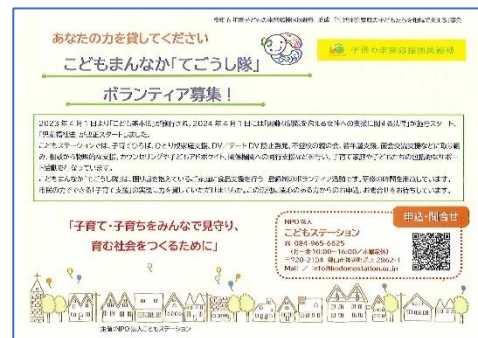
誰かに相談するその一歩には、とても大きなエネルギーが必要です。こどもステーションにかすかにも繋がってくださった方に敬意を表し、私たちの持てる最大限の力で、一人ひとりに寄り添っていきたいと思っています。(奥野)

#### 5. 気になる家庭に食品を届ける事業

数値目標：2 回／月×12 カ月＝24 回
30 人(子ども含む)／月×12 月＝360 人
数値結果：2 回／月×12 カ月＝24 回
427 人(保護者：166 人 子ども：261 人)

会場：てごうし隊・・・事務所内のキッチン～当事者宅

ボランティア養成・・・福山市東部市民交流センター、もこルーム



食品支援やこども食堂などの各種申込みの際に記載された近況報告や、メルマガ登録の際に書かれた「困っていること」を受け止め、ご家庭にお弁当やお菓子などの食品を持参して訪問しました。また、DVのあった家庭では、被害親が子どもを養育することができなくなるくらいにダメージを受けている場合もあり、親権者がDV加害親となることもあります。そんな家庭の子どもたちのために、経済的困窮を理由に、定期的訪問を続けてきました。(奥野)

## 《てごうし隊の一年を振り返って》

てごうし隊で食品をお届けする日は、卵や乳製品などの需要の高いものや、野菜や果物など宅配便で送ることが難しい物などを意識して買い物に行きました。食品をお持ちすると親子で出迎えてくれることも多く、お子さんにお渡しすると袋の中を覗き込んで「いちごが入ってる〜♪」など言いながら喜んで部屋に持って行き、お子さんがその場に居なくなったあと、お母さんが「普段、果物など買ってあげられないもので・・・」と悲しそうな表情をし、少しずつ悩みや相談を話し始めることもあります。ある日の話の中には、「お米が明日切れそうなのに、どうやってお米を買おうかと思っていました」とか「どうやってあと 1 週間過ごそうかと思っていました。これで何とか過ごせそうです」など、本当に逼迫した様子が伺える時もあります。



訪問するご家庭は、家の中に大人は自分ひとりだけで、不安があっても誰にも言えず、いつも一人で踏ん張って生きている様子が伺えます。相談に行くほどの事ではないと感じていても、アウトリーチで出向く事で何気ない会話から相談に繋がることもあり、とても大事な活動だと感じました。

訪問している近隣の地域は、車がないと生活にはとても不便な土地柄です。ですから、「どんなに生活が苦しくても、特別な事情がないと車を持つことを許されない生活保護を受けるという選択には至らない」という思いを話してくれる方もいました。

「てごうし隊」の活動を通じて、さまざまな事情でこどもステーションへ来ることができない方でも、お会いするきっかけも生まれ、直接顔を合わせて食品をお渡しすることで信頼関係を築くことができます。「あなたはひとりじゃないよ」ということを感じてもらえることで、少しでも生きていく力に繋がることを切に願います。(村上)



(アンケートから)

- ・収入が、今児童扶養手当と児童手当と貯金でやりくりしています。体調がわるくなかなか働けず、入退院を繰り返しています。とても助かりました。
- ・お米を買うお金もなかったの、大変なすかりました。暖かいお弁当をたべられたので、子ども達も大喜びしました！本当にありがとうございます。
- ・お米助かりました。しばらくうどん、近所のパン屋さんでもらうパンの耳の生活をしていたので、とても美味しくい

いただきました。子ども達も美味しい、美味しいととても喜んでいました。

- ・美味しかったです。今回の手羽中の唐揚げのレシピを教えて頂けたら嬉しいです。子どもが美味しいと言っていたので…。
- ・子どもに声がけしていただき、ありがとうございました。人に会わない孤立した環境にいと、ストレスが溜まるのかイライラしてばかりでしたが気分転換になったようです。
- ・「初めまして」でしたが、届けてくださったお二人の人柄が温かく、母の様な感じがしました(◡‿◡)メニュー表の、作ってくださっている方々の写真を見て、またさらに心温まりました。有難うございます。子どももおいしい！味付けがいいっ！と食べていました(笑)





## 「ボランティア募集～子育て支援サポーター養成」

困りごとや吐き出したい気持ちがあっても、自分から発信できないこともあります。混乱の中にいたり、私たちへの遠慮があったりすれば尚更です。安心が不十分な場合もあるかもしれません。地道にコツコツと、安心を持ってもらえるように焦らず急がず続けていきたいと思っています。

今は毎回 8 世帯ほどにお届けするのが精一杯で、今後お手伝いいただくボランティアさんを増やすことも課題です。(川内)

「てごうし隊」の活動の由来は、『てごう』という備後弁の『手伝う』の意からきています。てごうしたい方が集まって、輪が広がったらいいな…という思いでした。しかし、てごうし隊のボランティアは思うように集まりませんでした。しかし、それまで支援される側だった方が支援者になるということも起こっています。支援していたご家庭が、他のご家庭の困っていることに気付き、その方が信頼関係を継続され、てごうし隊につないでくださいました。

DV についての知識、被害者の心理や、加害者の考え方を知り、無意識の力と支配、暴力容認、ジェンダーバイアスに気づくことのできる支援者を増やすため、支援者に向けた DV 防止啓発講座に加え、こどもステーションが実践する子育てサポーターの支援スキルを学ぶ「子育てサポーター実践者コース」を開催しました。8 人のサポーターが誕生し、現在実習に取り掛かってきています。(奥野)



## 最後に

2024 年度は、「子どもの未来応援国民運動」の助成を受けて、「生活困窮家庭の子どもたちを地域で支える」事業を実施してきました。子どもたちを支えるためには、まず、その子どものすぐそばにいる親が、安心して子育てできる環境が必要です。それを阻むものが、貧困・孤立・暴力です。

2024 年 4 月 1 日に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」がスタートしました。この法的な後ろ盾を得て、こどもステーションの活動に繋がる母子への支援に拍車がかかると期待していましたが、施行から一年たった今でも、なかなかその兆しが見えてきません。

しかし、この報告書をご覧になって、こどもステーションの支援に繋がった方々が、エンパワメントされている様子が見えてきたのではないのでしょうか。

ひとり親家庭の母子が、人との信頼関係を持ち、自己実現に向けて夢を描き、未来に明るい希望を抱いて生きることができるよう、今後も努力を続けていきます。

ご支援ご協力いただいた皆様、子どもの未来応援国民運動に寄付をしてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。



NPO 法人こどもステーション

理事長 奥野 しのぶ



子供の未来応援国民運動

～子どもたちの幸せと幸せな子育てを願って～

NPO 法人こどもステーション

〒720-2104

広島県福山市神辺町道上 2862-1

広島ガス東中国(株) ショールーム「ハートラボ」内

TEL&FAX 084-965-6625

MAIL [info@kodomostation.or.jp](mailto:info@kodomostation.or.jp)

HP <https://kodomostation.or.jp/>

